

今日はね。

vol.9

漫画
です。

エ
ツ
セイ

これは

灯台下暗し。

衝撃は、いつも突然。よく考えたら当然ですね



今回は洗面台で起きた事件からスタートです

我が家の洗面台の周りはずつかりしてすいません

しかしそれは片付いてはいるのではなく

単にものをおける面積が少ないのです



結果少しの動作でもものをよく倒してしまいます

先日は化粧落としのボトルを倒してしまい部品が行方不明に。



あちこち探しても見つからず諦めたとき...

まさかのポケットから発見。



来たれ
我が眼前に。

十二月
流星群が
ありましたね♪

深夜2時過ぎ
三十分くらい
ねばって
五個くらい
見られました！

イエーイ！



私は見たぞ！
流れ星！

しかし
時期が
時期だけに
寒い！

なので
見られた時は
本当に
テンション
あがりました

音楽聞きながら
缶コリア飲んで
踊りながら
寒さしのぎました



以前も
流星群に
ついては
描いたのですが

本当に流れて
消えるまでは
一瞬で。

待ちわびた
出会いと別れが
一瞬で過ぎ去る
ようだ…

などと
考えながら
見ておりました



次回の流星群も
楽しみます

別れを承知で
出会いに
いきます！

たのしみ！
たのしみ！
たのしみ！

お星様
相手に
出来ること

いつか人にも
出来たら
何かが変わるのかも
しれませんね。



衝動を満たして。

すぐく肉を食べたい衝動にかられて肉を買い込みました

特に固まり肉!

マンガ肉までいかなくとも大きなお肉を渴望しておりました

肉を食べたい!!!

しかしお金に射止めがあったので

悩んだ末シチュー用のすね肉とこまぎれのお肉を購入しました

そして両方シチューへ投入。



野菜も入れてはおりましたが

まあ当然のよう肉の割合が高めなシチューに。

味としても満足のいく調理が出来満足でした



しかし味を覚えたあとが難儀でした。

何かにつけて気づくと肉を所望する体になりました。

結論：私、野生に目覚める。

肉... 肉が喰らいとうござります...



メディアの ちから。

ある番組を
通して
某インスタント
ラーメンが
話題になり
ましたね

インスタント
なのにまるで
生麺食感
とのこと
でした♪



食べたことが
なかったので
気になり

スーパーで
インスタント
ラーメンの
コーナーに
向かいました

えーつと
ん?

しかし…



なんと
棚が空っぽ。

なんて
ことで
しよう!

他のラーメンは
普通に
ありました。



メディアの力…
恐ろしいっ…!!

大きめスーパーの
棚を空っぽに
するほどの
能力とは…

そんなわけで
その日は
某ラーメン
買えませんでした。



② 手紙をかきます。

出さなかった
手紙を
書いた時の
状況は
今となつては
うつろで。



けれど
とにかく
ネガティブな
言葉を
綴ったのを
記憶しています

「怖いです」
「苦手です」

「私が悪いのかも
しれません」



「悪い夢ばかり
みます」

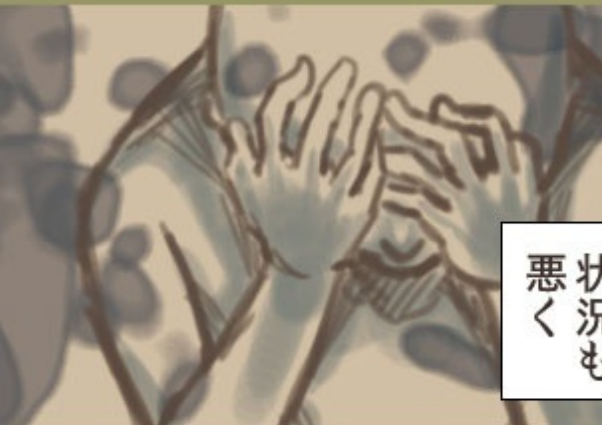
「どうして
いいかげん
良いのか
わかりません」

「強くなれない」

私はまさに
ネガティブの
ループに
はまっついて

状況も
悪く

手紙に吐露した
文章は
読み返した
私にもわかる
ネガティブさ
でした



③ 手紙をかきます。

手紙を
読み返して
ネガティブさと
合わせて
気づいたことが
ありました



いつもは
書く内容が
欠けて
いたのです

「良い結果が
出たら
報告します」

そういった
一文を
いつも文章
終盤に
添えていたのに



それが
ありません
でした

「ああ、
今の自分
良い結果なんて
出せる気
しないもんな」

「そりゃ
そんなこと
書けんわ」



客観的に
そう感じ
ました

そして
思い至ります。

…あ
これ
送ったら
あかん
やつや。



④ 手紙をかきます。

恩師は私にとって本当に文字通りの恩師で

私の弱さや未熟さにつき合ってくれた人で

そして私の周囲をまきちんと大事にしてくれる人で…

そんな人に出す手紙がこれではいけない

恩師のもとを離れて一人前になるべきこの時に

私はいつまで「師」をさせるつもりなのか

私は恩師の「師」になることはない

同じものを還せない以上私がすべきは彼女の誇りになることで

「私の自慢よ」

そう言ってもらえる存在になることこそが還すことに繋がるのだ

手紙は封をして宛名も書いて

切手を貼らずに数日机においておきましたがおき

結局ポストに入れることはありませんでした

きっとそれは「強がり」というもので

その強さも私は手紙の恩師から教わるのです

手紙をかきます。

⑤

今でもたまに
恩師に宛てて
手紙をかきます

母の日
クリスマス
ふと思い立った
何でもない日

良い結果が
出ていなくとも
書きます

「ご無沙汰
しております」

「順調では
ありませんが
前進しています」

「素敵な先輩に
恵まれてます」
「勉強しなくて
いけないことが
たくさんあります」

「出来ることが
少しずつ
増えていきます」

「うまく出来ずに
迷惑をかけて
しまいました」

「やっぱり
絵でご飯
食べて
いきたいです」

「少しですが
成果ができました
また頑張れ
そうです」

「良い結果がでたら 報告します。」

今日はね。 vol.9

<http://p.booklog.jp/book/62903>

著者：歯車童

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/hagurumawarashi/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/62903>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/62903>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ